

〔資料〕 国際シンポジウム

「周氏兄弟と 1920 年代——『新青年』から『語絲』へ」
(科研費・基盤 C「雑誌『語絲』に見える周氏兄弟の岐路」)

Web : <http://zhoushi.ogawat.net/>

シンポジウムタイムテーブル (日本標準時で表示)		
ご注意：発表時間には画面切り替えに要する時間 (2分程度) も含んでいます。		
2022 年 10 月 1 日 (土) Webinar による開催		
9:00	9:40	開会式 司会者：小川利康
9:00	9:25	オンライン会議室開場
9:25	9:40	開会式 開幕の辞：長堀祐造 (日文)
9:40	11:00	第 1 部 司会者：長堀祐造
9:40	10:20	①藤井省三 美眸少女之死与 Hope —— 围绕鲁迅翻译《契里珂夫选集》到创作《在酒楼上》的展开
10:20	11:00	②王中忱 萌发于北方的“新俄文学”译介 —— 以冯雪峰北京漂泊时期的人际网络与翻译活动为中心 ——
休憩 10 分		
11:10	12:25	第 2 部 司会者：王中忱
11:10	11:30	③赵京华 “由文明论到文化论述”时代主题演变中的周氏兄弟 —— 简论 1920 年代鲁迅、周作人的思想、文学分殊
11:30	11:50	④工藤貴正 「五四」後の知識人の責任 —— 「フェアプレー論」を巡る鲁迅・周作人・林語堂の言説を視座に
11:50	12:10	⑤長堀祐造 陳独秀訳注「婦人観」(Max O'Rell 著)の日本書材源及びその訳注者・深澤由次郎について
12:10	12:25	コメント討論 15 分
昼休み 65 分		
13:30	14:45	第 3 部 司会者：工藤貴正
13:30	13:50	⑥伊藤徳也 鲁迅は「私の失恋」をなぜ『野草』に編入したのか
13:50	14:10	⑦秋吉 収 『語絲』版本攷
14:10	14:30	⑧王俊文 “单纯的信仰” —— 丸山昏迷と周氏兄弟、李大钊的精神共鸣 ——

14:30	14:45	コメント討論 15分
休憩 5分		
14:50	16:05	第4部 司会者：赵京华
14:50	15:10	⑨裴亮 1920年代“泛劳动主义”在俄日中的思想流动与观念建构 ——以升曙梦、武者小路实笃与周作人为线索
15:10	15:30	⑩宋声泉 一人二影：周氏兄弟关联文本中的“夏曾佑难题”
15:30	15:50	⑪山口早苗 周作人と陶亢德
15:50	16:05	コメント討論 15分
休憩 5分		
16:10	17:25	第5部 司会者：秋吉 收
16:10	16:30	⑫李雅娟 朝向“新生活”的思想革命 ——以《新青年》中的陈独秀、周氏兄弟为中心
16:30	16:50	⑬陈青庆 试论周氏兄弟的早期革命观 ——以1917年俄国革命为中心
16:50	17:00	⑭董卉川 周作人散文诗论
17:00	17:10	⑮小川利康 周作人的循环史论 ——从巴枯宁的箴言说起
17:10	17:25	コメント討論 15分
休憩 5分		
17:30	17:50	閉幕式 司会者：小川利康
17:30	17:45	总评 赵京华（中文）
17:45	17:50	闭幕词 小川利康（中文）

* この国際シンポジウムは科研費基盤研究C（20K00375）「雑誌『語絲』に見える周氏兄弟の岐路」によって運営されています。